

第14期 平成26年度 活動報告

1. 市民協働の支援事業

(1) 協働のまちづくり支援（専門家派遣） ※継続

① 掛川市協働のまちづくり

- －掛川市の協働のまちづくりとして、小学校区単位の地区がまちづくり協議会を立上げ「地区まちづくり計画」を策定し、そのまちづくり計画の策定に対する指導・助言を行った。
- －市内3地区をモデル地区のうち西山口地区の1地区の計画づくりの指導を行い、南郷地区については、計画内容の助言を行った。（合計3回：山内代表理事）

② 牧之原市の地区まちづくり協議会

- －牧之原市の地区まちづくり協議会にまちづくりの専門家を派遣し、講演を行い住民によるまちづくり計画策定のアドバイスや情報提供を行った。
- －3地区各1回（萩間地区：田中副会長、細江地区：伊藤理事、牧之原地区：山内代表理事）

③ 牧之原坂部地区まちづくり協議会

- －牧之原市坂部地区まちづくり協議会は、地区まちづくり計画に基づく活動をしており、その中でいくつかの課題が発生し、協議会の会議やワークショップなどに出向き指導・助言や情報提供、ワークショップのコーディネートなどを行った。（合計3回：派遣 山内代表理事）

(2) 三遠南信住民ネットワーク協議会の運営支援

- －住民ネットワーク協議会の世話会の代表及び事務局を担った。 田中副会長・山内代表理事（延べ6回、協議会事務局業務）
- －「祭り街道」をテーマとする街道連携事業や三遠南信の産品を紹介する互産互消のアンテナショップの推進
- －三遠南信サミットin遠州（10/23）実行委員専門委員参加（田中副会長）
- －三遠南信サミットin遠州（10/23）住民セッションの企画・運営
- －その他、三遠南信地域の住民連携による情報発信の研究



祭り街道の紹介パネル

2. 環境保全の支援事業

(1) はまなこ環境ネットワーク関連業務（委託業務）

① 浜名湖情報交流事業（通年）

- ・ホームページ、ブログ配信（登録団体情報の収集・更新を含む）
- ・広報誌作成、配布（3回発行）
- ・その他メーリングリストほか

② 浜名湖環境教育プログラム実施業務（浜名湖エコキッズ体験塾2回）

- 第1回 8/23（土）：渚園・浜名湖内（ウォット見学、湖上観察、水質検査ほか）
- 第2回 10/26（日）：いなさ・てんでんゴーしぶ川（都田川水源地域の森林体験）



エコキッズ体験塾（舞阪・渚園）



エコキッズ体験塾（湖底観察）



エコキッズ体験塾（いなさ・森林環

③浜名湖環境保全団体 意見交換会（1回・自主事業）

ー3/3（火）浜名湖の環境保全に関する取組と課題について意見交換

(2) 浜名湖アマモ利用プロジェクト(はまなこ環境NW事業)

ー浜名湖のアマモ・アオサ（海草）に関する循環の仕組みづくりを継続し、湖岸に漂着したアマモ等を畑の堆肥として活用し、市民啓発と再利用の拡充・定着化を図った。

ー活動経費は、アサヒビールからの寄附金を充当し、浜松市森林環境基金の助成金を受けて実施した。

○7/20（日）アマモ回収アマモ回収・農地への運搬（約70人のボランティアが参加）

○9/13（土）アマモ堆肥の野菜づくり体験（約20人のボランティアが参加）

○9/13・14アマモ利用の野菜プランターづくり（間伐材の工作体験会：浜名湖ガーデンパークのイベントで一般来場者3万人を対象に実施）

○9/12（金）アマモ利用の普及啓発（庄内小学校でアマモ利用の野菜づくりや浜名湖学を指導）

○2/7（土）アマモ堆肥の野菜収穫祭



ガーデンパークイベントで工作体験



アマモ回収作業（館山寺サンビーチ）



アマモ堆肥の野菜種まき（村楯）



アマモ堆肥の野菜種まき（村楯）

3. 地域文化の伝承・景観形成の支援事業

(1)ぐるり・富士山風景街道に関する取組(自主事業)

①朝霧地区景観形成ワークショップ会議（3回実施）

ごみ持ち帰り袋を作成し、ごみゼロ活動啓発キャンペーンを実施。

② HPの維持

③ぐるり富士山トレイル研究（テーマ別部会）

④H27年度事業に向けた企画提案

ごみゼロ活動啓発

「持ち帰り袋」



- ぐるり富士山トレイル事業の推進（6月発行の静岡新聞の「ぐるり富士山トレイル」ガイドブックの情報提供や企画協力を行った）
- ぐるり富士山風景街道一周清掃2015の開催
- 朝霧地区の景観形成活動のぐるり・富士山エリアへの拡充
- ぐるり富士山をめぐる取組研究（道の駅ネットワーク、サイクリング「ふじいち」）

(2) 富士山の包括的な道路景観管理社会実験 H26.8.5～H27.3.18

- ー住民や地域の事業者、来訪者、富士山を愛する人などが富士山の景観を維持するための「道路の景観管理」の仕組みづくりに取組んだ。（人・技・資金の持続可能な仕組み）
- ー国土交通省の社会実験の採択を受けて、協議会を組織し実施した。当NPOはその企画・運営と事務局など中核的な業務を担い、実施管理や取りまとめや提案を行った。
- ー現地での景観管理実験：10月～11月
- 名称：地域力を活かした富士山の包括的な道路景観管理に向けた社会実験
- 社会実験の実施主体：富士山朝霧高原景観管理協議会（事務局はTネット）



朝霧高原で景観管理の社会実験実施



住民団体が国道139号沿道で草刈作業



道路空間を活用した資金開発の仕組み

(3) 国道138号景観形成ワークショップ(委託)

- ー富士山の山麓を走る国道138号の景観を形成するため、住民・事業者・行政等により景観形成の活動を検討するワークショップを企画・運営した。
- ー対象地は国道138号の小山町須走地区及び御殿場（東名IC～R246までの間）の2ヶ所。
- ーワークショップは、小山町2回、御殿場3回実施した。

<小山町>

- H27年1月29日(月) 第1回ワークショップ会議(現況把握・景観向上アイデア出し)
- 27年3月4日(水) 第2回ワークショップ会議(活動プログラム案の検討)

<御殿場市>

- H27年1月8日・13日・15日 自治会・企業関係者ヒアリング
- H27年2月7日(土) 第1回ワークショップ会議(現地踏査)
- H27年3月13日(金) 第2回ワークショップ会議(グループ討議・全体会議)



小山町須走地区でのワークショップ



御殿場市（東名IC～R246）でのワークショップ



(4) 東海道2峠6宿風景街道に関する取組(自主事業・委託)

- ーまち歩き観光を進め、地域の魅力を再発見することを目指して活動した。
- ーどこからでも富士山は見えるPJでは眺望を阻害している樹木の枝の伐採を空師に依頼。草刈とおともに実施した。
- ーH25年度のフォトコンテストの写真をカレンダーにして500部印刷し、PRに努めた。

①組織の運営 : 静岡二峠六宿街道観光協議会の運営(自主事業+静岡市から協議会に助成金)

○7月1日に総会の実施

②運営資金の確保 : 道のエコミュージアム基金の管理(自主事業)・カレンダー寄付

③ウォーカーへの情報発信 : HPの維持・マップの作成

○蒲原宿・由比宿+薩埵峠・興津宿・江尻宿・丸子宿

④磨き上げ事業 : どこからでも富士山道、プチメンテナンス

○8月30日(土):宇津ノ谷峠現地調査

○3月21日(土):宇津ノ谷峠草刈り、樹木枝伐採の実施

○10月 現地調査

○3月15日(土):つつじ通りプチメンテナンス

⑤2峠6宿情報発信 : イベントカレンダーの作成・配布

○2峠6宿イベントカレンダーの制作(フォトコンテストの入選作品利用)

○宇津ノ谷峠の草刈り等の維持管理活動



宇津ノ谷峠の草刈・維持管理活動

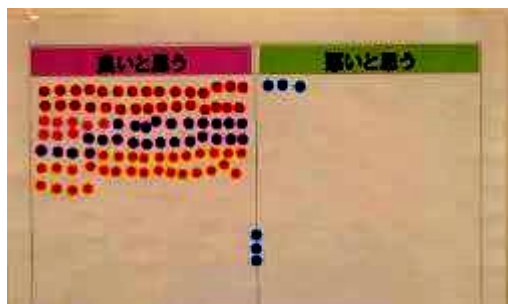


イベントカレンダーを製作

(5) 清水次郎長生家の管理運營業務(補助事業)

- ー清水次郎長生家を保存するため、静岡市より補助を受けて管理運営を行った。
- ー3名のパート職員による運営(施設管理、説明、物産販売)。
- ー「次郎長生家を活かすまちづくりの会」や清水の経済人等と一緒に生家の保存活動を展開し、保存修復や募金活動を行なった。
 - 入館者数16,090人:正月1月1日の実施、休館日の火曜日にも希望者には開放。
 - 館内のリニューアル・清掃(商工会議所の小規模事業者支援補助金活用)2回
 - 生家オリジナル商品の導入(3種類)・静岡商品の導入
 - 観光案内拠点としての情報の発信(情報誌・パンフレット・ブログ)

- 生家を活かすまちづくりの会の支援(コンサート・フェイスブック投票)
 - ー残したい建物コンテスト第1位(2684票)
- テレビ、雑誌、マスコミ等の取材の対応(30社)
- 行政・民間団体のイベントの対応(スタンプラリー・ちび丸子販売・ハロイン)
- 丸子宿場祭りの参加・「次郎長を偉人にしてもいいか100人アンケートの実施
 - ー「良いと思う」との回答は96人で、「どちらともいえない」は3人「悪いと思う」は3人という結果となった。



宿場祭りに行ったアンケート結果



民間団体主催のハロインに協力



改修前の破れた中庭カーテン



改修後は小壁をつくりカーテンを新しくした

(6)ふじのくに日本風景街道支援センター運営 (自主事業)

- ー静岡県内の日本風景街道ルートの連携を図り、各ルートの活動が活発化するための情報提供や交流に取り組んだ。
- ー日本風景街道「なごみの道・なごみの伊豆」の事務局支援も併せて行った。
- ー浜名湖サイクルツーリズム風景街道の取組みを支援した。



浜名湖サイクルツーリズム勉強会(浜松市内)

4. 観光まちづくり・地域振興支援事業

(1)中部ブロック「道の駅」連絡会事務局(受託事業)

- ー総会(1回)、役員会(2回)、駅長会議(1回)地域活性化会議(勉強会1回)事務局として参加した。開催地は名古屋市内。(担当:山内)
- ー道の駅地域活性化会議(静岡県分科会)の段取り、準備、運営を行った。(2回・田中、山内)



中部ブロック「道の駅」駅長会議(名古屋市内)

(2) 富士山周辺「道の駅」連携・広報資料作成業務

- ぐるり富士山風景街道のエリアにおいて、風景街道及びぐるり富士山トレイルの情報提供のコンテンツを作成し、道の駅利用者等に情報提供した。
- 静岡県・山梨県の富士山周辺の道の駅により、「富士山周辺道の駅ネットワーク意見交換会」を開催し、情報交換やネットワーク化の意見交換を行った。
- 道の駅を拠点とする「ぐるり富士山サイクリング」に関する研究も行った。

富士山周辺の「道の駅」で
風景街道を紹介するパネル



(3) 浜名湖魅力発信業務(静岡県委託業務) ※新規

- 浜名湖の自然、歴史、文化、観光、まちづくりなど地域資源を活かして、浜名湖の魅力を発信するホームページを開設した。(前期に作成した団体のガイドブックのコンテンツを利用)
- 1/31 浜名湖周辺で活動している団体の連携を促進するための交流会を開催した。
交流会の講師として、NPO全国街道交流会議の協力で同NPOの理事で大阪の賑わい創出に取り組む伴氏を招いた。



浜名湖魅力発信隊交流会 (湖西市鷺津)

(4) 市街化調整区域の「地区計画」検証調査(公募助成金) ※新規

- 浜松まちづくり公社のまちづくり助成金を受けて浜松市の市街化調整区域である「浜松卸商団地」において、住民や事業の申し出により定めた地区計画の運用後の効果や現状を調査し、調整区域の地区計画を検証した。
- また、南海トラフ巨大地震による想定される津波による地区のポテンシャル低下の影響が卸商団地にどのような影響があるかも検証した。
 - ・講演会
 - ・権利者意向調査(集計・分析)
 - ・専門家及び不動産事業者へのヒアリング
 - ・まちづくり及び地区計画見直し案の提案



浜松卸商団地(調整区域)の地区計画を検証

(5) 観光関連団体との連携支援(自主事業) ※継続

- 2峠6宿の活動をふまえて設立された「駿河歩人研究会」とともに次郎長生家の運営、町歩きの仕組みづくりなど連携しながら活動した。

5. 安心・安全なまちづくり支援事業

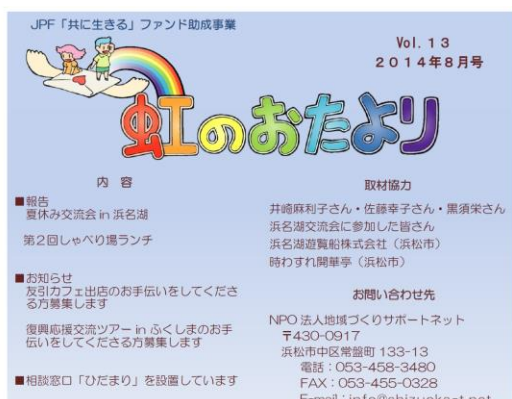
(1) ジャンプラットホーム「共に生きる」ファンド震災復興支援事業(公募・助成金)※継続

ー「共に生きる」ファンドの助成金を受け、静岡県内への避難者の生きがいづくりや地域に馴染むための支援活動を行った。支援活動に対し、支援スタッフを雇用して実施した。

●第16次助成金 5月20日～1月19日 8ヶ月間

○離散した被災者（遠隔地への避難者）の生きがい創出・交流事業

- ー静岡県西部地域の避難者への広報誌編集・発行(隔月)
- ー避難者自立支援・相談サロン「ひだまり」の運営
- ー避難者の交流と避難先の市民との交流事業の開催支援(合計8回)
 - ・避難者&市民の交流イベントの開催(浜松市、掛川市、静岡市)
 - ・被災地の復興支援商品等の管理支援及びPR



報告 ～夏休み交流会 in 浜名湖～

8月2日(土)♪

県西部地区で避難生活をおくる方たちの交流会を鏡山寺温泉の「時わすれ開華亭」で開催しました。

遊覧船に乗って浜名湖クルージング♪

交流会の前に遊覧船に乗って、浜名湖の美しい景観を楽しみました。フラワーパーク港を出発して鏡山寺港～瀬戸港経由での1時間の船旅。

真夏の暑い日でしたが、湖上を吹き抜ける風が気持ちよく、浜名湖について学びながらクルージング観光を楽しみました。

初めて会った子どもたちもすぐに仲良くなって、一緒に楽しんでいました。



浜名湖遊覧船「ハイビスカス号」の前で記念撮影

避難者広報誌「虹のおたよし」編集・発行



避難者・市民交流：掛川友引カフェ復興鍋振る舞い



避難者演奏会：ニューイヤーコンサート(静岡市内)

(2) ふるさとふくしま帰還支援事業(公募助成金) ※継続

H26.6月～H27.3.23

- 避難者見守り支援活動「しゃべり場」(静岡県西部地域を対象)
- 避難者⇄帰還した避難者のレポート取材
- ふくしま避難ママのガイドによる復興支援交流ツアーの実施
 - 避難者と避難者の故郷の市民(福島県南相馬市、二本松市)
 - 9月19日(金)夜発～21日(日)夜着(浜松駅前・静岡駅前の発着)
- ツアー報告会(平成27年1月)
- 避難者と一緒にならぶふるしまの情報整理(新聞スクラップ等)



ふくしま避難ママの復興支援交流ツアー（福島県南相馬市、二本松市）



避難者しゃべり場ランチ会（浜松市内）



避難者しゃべり場ランチ会（浜松市内）



避難者交流会：Xマス「ずんだ餅」パーティ

(3)ふれあい基金「避難者ふじのくに体験交流ツアー」(公募助成金) ※継続

ー静岡県の避難者が少しでも明るく、生きがいを持って暮らしていけるための、交流ツアーを行った。

○豊かな「浜名湖」の自然と文化を知る・見る・体験する

ー館山寺温泉での浜名湖遊覧、館山寺のホテルで交流会を開催した。

ー実施：8月2日（土）

○絶景「富士山」自然と文化を知る・見る・体験する

ー朝霧高原の歴史を学び、富士山麓の雄大な自然を満喫する体験（酪農体験など）した。

ー実施：11月14日（日）



避難者体験交流ツアー（浜名湖館山寺）



避難者体験交流ツアー（富士山朝霧高原）

(4)WAM助成被災地児童のびのび・わくわく体験事業(公募助成)

ー放射能汚染の不安から外遊びが制約される福島県の子どもたちに対し、のびのび・わくわくできる機会を提供した。

○福島県内におけるわくわく活動（4回）

対象：福島市内に避難する幼稚園児・小学生を対象に、ボールパフォーマンスを披露し体験するプログラム。全38か所約2400人参加。 ※NPOカンテラと協働して実施。

また、H27年1月にはその関連で南相馬市原町商工会議所主



ボールパフォーマンスを派遣（福島県内）

催「冬まつり」において、静岡県のB級グルメをPR・販売（伊藤、大河内、最上、山内）を実施した。併せて幼稚園への静岡県のみかん、おでん、うなぎつくだ煮などを提供した。



福島県南相馬でのしずおかB級グルメ提



福島県南相馬の幼稚園から御礼のメッセージ

○静岡県内におけるのびのび体験活動（保養事業）

対象：福島市内の幼稚園児・小学生26名、保護者7名計33名参加（招待）スタッフ24名

平成26年11月22日～24日実施、朝霧高原「ふもとつばら」富士市「富士山こどもの国」、で2泊3日の保養・体験事業。富士浅間大社白糸の滝等見学。



福島県から保養体験ツアー（富士山）

(5) 復興支援団体との連携・活動支援(自主事業)

ー東北震災を支援する市民団体「SAVE IWATE しずおか」やNPO法人くらしまち継承機構などへの支援と同団体と連携しながら、静岡への避難者を対象とした交流会「クラフトカフェ」、被災地関連商品を販売する「復興支援カフェ」など支援活動を継続した。



毎月開催のクラフトカフェ（静岡市内）

(6) 浜松市UD啓発協働事業(助成事業) ※新規

ー浜松市が進めるUDを市民や企業に浸透させるために、UDに関する取組や製品を調査して、啓発のパネルやUDパンフレットを作成し、展示した。

ー浜松市市民協働センターのサロンやUDコーナーでUD啓発のパンフレットの配架、パネルや製品の展示を行った。

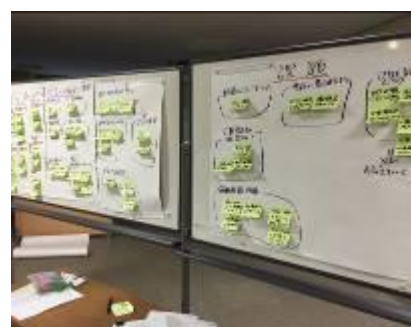
ー1/14 UD啓発のための講演会、交流会を実施した。沼津市のひものを“骨まで食べられる”商品に加工販売している株式会社BEEの社長を講師として招いた。



UD講演会（テーマは食のUD）



骨まで食べられるひもの試食会



参加者との意見交換

(7) 浜松市NPO災害協定ネットワーク会議への参加(自主事業) ※継続

ー南海トラフ巨大地震に備えて、浜松市とNPOが災害協定を交わし、NPOが復旧・復興の活動の一部を市に代わって担うためのネットワーク構築の研究に参加した。

6. その他目的を達成に必要な事業

(1) 静岡地域学会の活動協力(自主事業) ※継続

ー8月9日 新しく生まれ変わった新・静岡地域学会の会議及び研究発表会に参加した。

(2) 日本風景街道大学への参加協力(自主事業) ※継続

ーNPO 法人日本風景街道コミュニティが開催する「日本風景街道大学(島根)」に参加し、全国の風景街道ルートの団体と交流を図り、情報交換した。

○日時 平成25年11月7日(金)・8日(土)

○会場 島根大学ほか

ーNPO 法人日本風景街道コミュニティには、法人会員として加入し、みちのコミュニティシンクタンクの常任研究員(2名: 山内・高木)に登録。



日本風景街道大学島根校

(3) 道や街道に関連するホームページの一元的管理と情報発信の充実(自主事業) ※再掲

○地域づくりサポートネットのサイト (ドメインはそれぞれのドメイン、サーバーを共有)

+

○東海道2峠6宿駿河歩人(風景街道)

○ぐるり・富士山風景街道(風景街道)

○さすが静岡 東海道(アムズ環境デザイン研究所×静岡県観光政策課)

○東海道と川筋の往来文化(東海まちづくり研究所×静岡県観光政策課)

(4) その他各種委員会(自主事業)

○静岡県社会資本整備重点プロジェクト策定委員(山内) 2回

○静岡県生産性向上推進プログラム有識者会議(山内) 2回

○浜松市省エネネットワーク委員(山内) 2回

○掛川市協働のまちづくり条例策定市民委員会ファシリテーター(山内) 7回

○浜名湖サイクルツーリズム推進会議座長(田中) 3回

○熱海市社会資本整備評価委員会委員(小泉)

○静岡県行財政改革推進委員会(高木) 7回

○“ふじのくに”土民協働事業レビュー(高木) 1回

○静岡市みちシンポジウム(高木)

【参考】地域づくりサポートネットが中間支援を行う団体

- ・ぐるり富士山風景街道アクションネットワーク 静岡県事務局
- ・東海道駿河2峠6宿街道観光協議会（風景街道） 事務局
- ・なごみの伊豆・なごみの道風景街道 事務局
- ・中部ブロック「道の駅」連絡会事務局 静岡県担当
- ・朝霧地区景観形成ワークショップ会議 コーディネート
- ・富士山朝霧高原景観管理協議会 事務局
- ・はまなこ環境ネットワーク 事務局
- ・浜名湖サイクルツーリズム推進会議 参加
- ・三遠南信住民ネットワーク協議会 世話人 ※H26年度は事務局を担当
- ・次郎長生家を活かすまちづくりの会 事務局